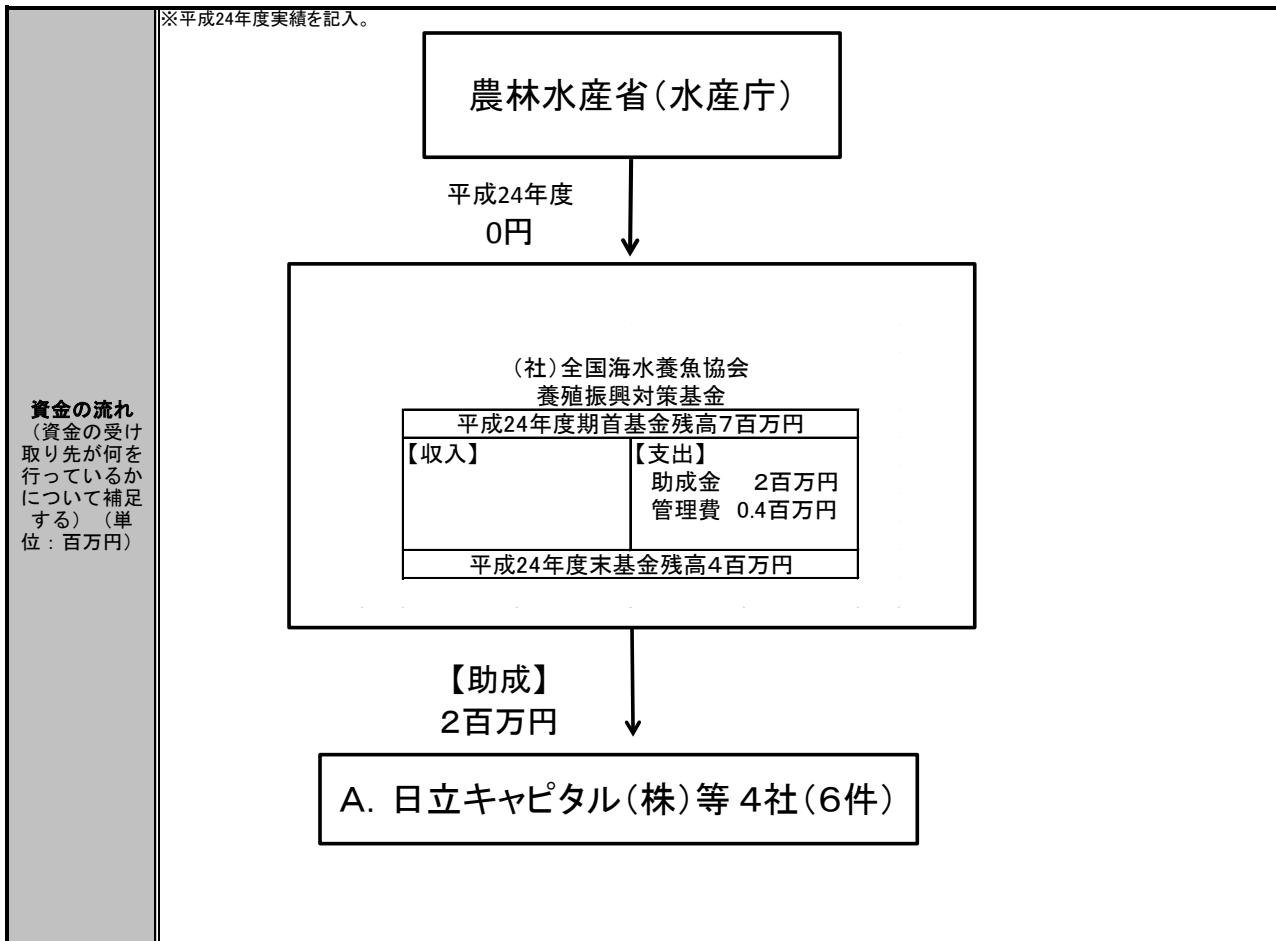


平成25年基金シート (農林水産省)				
基金名	養殖業振興対策基金	担当部局	水産庁増殖推進部	作成責任者
法人名	(社)全国海水養魚協会	担当課室	栽培養殖課	栽培養殖課長 保科 正樹
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	—	関係する計 画、通知等	水産業振興総合対策基本要綱	関係する行政 事業レビュー シート
事業概要 (5行程度。別添可)	(1) <input checked="" type="checkbox"/> 取り崩し型 <input type="checkbox"/> 回転型 <input type="checkbox"/> 保有型 <input type="checkbox"/> 運用型 <input type="checkbox"/> その他 (2) <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> 債務保証 <input type="checkbox"/> 利子助成、補給 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 補てん <input type="checkbox"/> 出資 <input type="checkbox"/> その他 海面養殖業を営む者が経営の近代化、省力化、ブランド化を図る上で必要な養殖関連機械をリース契約で導入する場合に、リース料の一部の助成を実施。 本基金に基づく事業応募は平成18年度に終了し、現在は後年度負担分のみを支出している状況。当該負担分についても平成26年度で終了することから本基金は同年度で廃止予定である。なお、残余がある場合は同年度末までに国庫返納予定。			—
基金への国庫か らの支出の経緯 ①	基金設置年度 平成8年度	当初/補正 (会計区分)	当初 (一般会計)	国費額 (単位:百万円) 193
	目的 養殖業高度化機械緊急整備リース事業として、海面養殖業を営む者が経営の近代化、省力化を図る上で必要な養殖関連機械をリース契約で導入する場合に、リース料の一部を助成。			
基金への国庫か らの支出の経緯 ②	追加年度 平成9年度	当初/補正 (会計区分)	当初 (一般会計)	国費額 (単位:百万円) 197
	目的 養殖業高度化機械緊急整備リース事業として、海面養殖業を営む者が経営の近代化、省力化を図る上で必要な養殖関連機械をリース契約で導入する場合に、リース料の一部を助成。			
基金への国庫か らの支出の経緯 ③	基金設置年度 平成14年度	当初/補正 (会計区分)	当初 (一般会計)	国費額 (単位:百万円) 50
	目的 養殖業高度化機械緊急整備リース助成事業(特定)として、輸入わかれめの増加による国産わかれめの価格暴落・低迷等、養殖業者自身の責めに帰しない事由により経営状況が著しく悪化している特定の養殖業種・地域の競争力強化を図る上で必要な養殖関連機械をリース契約で導入する場合に、リース料の一部を助成。			
基金への国庫か らの支出の経緯 ④	基金設置年度 平成15年度	当初/補正 (会計区分)	当初 (一般会計)	国費額 (単位:百万円) 50
	目的 養殖水産物ブランド化推進・強化機械緊急整備事業(ブランド化)として、地域特性に即した養殖生産物のブランド化を推進するために必要なリースによる機器の導入する場合に、リース料の一部を助成。			
基金への国庫か らの支出の経緯 ⑤	基金設置年度 平成20年度	当初/補正 (会計区分)	補正 (一般会計)	国費額 (単位:百万円) 120
	目的 養殖用飼料として利用されていない資源を活用する取組への助成。			
国庫納付の経緯 ①	年度 平成20年度		国庫納付額 (単位:百万円)	39
	目的 持続的養殖推進リース事業が平成18年度に新規契約受付を終了したことから基金の見直しを行い、平成20年度には後年度負担の支払財源等として必要のない額を国庫へ返納。			
国庫納付の経緯 ②	年度 平成22年度		国庫納付額 (単位:百万円)	80
	目的 養殖用飼料高騰緊急対策事業が平成21年度で事業が終了したことから、平成22年度において基金の不用額を全額国庫へ返納。			
国庫納付の経緯 ③	年度 平成23年度		国庫納付額 (単位:百万円)	0.005
	目的 養殖用飼料高騰緊急対策事業が平成22年度に国庫返納した基金に運用益が発生したため、平成23年度において全額国庫へ返納。			
終了予定期	本基金に基づく事業応募は平成18年度に終了し、現在は後年度負担分のみを支出している状況。当該負担分についても平成26年度で終了することから本基金は同年度で廃止予定である。なお、残余がある場合は同年度末までに国庫返納する予定。			
収入・事業費 等 (単位:百万円)	22年度	23年度	24年度	25年度見込み
	国費	0	0	0
	国費を原資とした 収入(運用収入)	0.02	0	0
	国費 以外	出資等	0	0
	その他	0	0	0
	前年度繰り越し	110	14	7
	(マイナス)返納額	80	0.005	0
	合計(a)	30	14	7
	助成額	15	6	2
	管理費	1	1	0.4
	合計(b)	16	7	2
	基金残高 (a-b)	14	7	4
	出資残高	0	0	0
	貸付残高	0	0	0
	債務保証残高	0	0	0





費目・用途 （「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かることに記載）	A.日立キャピタル(株)		
	費目	使途	金額 (百万円)
	助成金	全自動乾海苔製造装置リース料助成	1
	計		1
計			0

## 支出先上位10者リスト

A

A.	支 出 先	業 務 概 要 及 び 採 択 理 由	支 出 額 (百万円)
1	日立キャピタル(株)	機器借受者(牛島昇)への貸付機械(全自動乾海苔製造装置)のリース料	1.1
2	日立キャピタル(株)	機器借受者(釘本秋則)への貸付機械(全自動乾海苔製造装置)のリース	0.4
3	日立キャピタル(株)	機器借受者(岩寄勝治)への貸付機械(全自動乾海苔製造装置)のリース	0.4
4	オーシャンリース(株)	機器借受者((株)宇佐水産)への貸付機械(FRP養殖作業船)のリース料	0.2
5	ヤンマークレジットサービス(株)	機器借受者(島崎茂憲)への貸付機械(海苔簾装船)のリース料助成	0.2
6	東京センチュリーリース(株)	機器借受者(重宝水産(株))への貸付機械(EP搅拌機)のリース料助成	0.1
7			
8			
9			
10			